

レッジョ・エミリア・アプローチ 世界を巡回する展覧会

日本初公開 「MOSAIC OF MARKS WORDS MATERIAL」 2022年12月1日より 第1会期が「まちのこども園 代々木公園」で開催



SCUOLE E NIDI D'INFANZIA
Istituzione del
Comune di Reggio Emilia
REGGIO EMILIA APPROACH



もざいく 描くこと、言葉、素材が 紡ぐ物語り

北イタリア発祥の教育アプローチ レッジョ・エミリア・アプローチの日本窓口団体「Japan Institute For Reggio Emilia Alliance（運営：まちの研究所株式会社、東京都渋谷区）」は、2022年12月1日より展覧会『もざいくー描くこと、言葉、素材が紡ぐ物語りー』（英題:MOSAIC OF MARKS WORDS MATERIAL）を開催いたします。

本展は2015年にイタリアを皮切りに、世界六カ国を巡回してきており、日本では初公開となります。また、来春より国内巡回展として関西・東北・四国を巡ることが決定しており、巡回展を伴ったレッジョ・エミリア・アプローチの展覧会としては、およそ11年ぶりの開催となります。

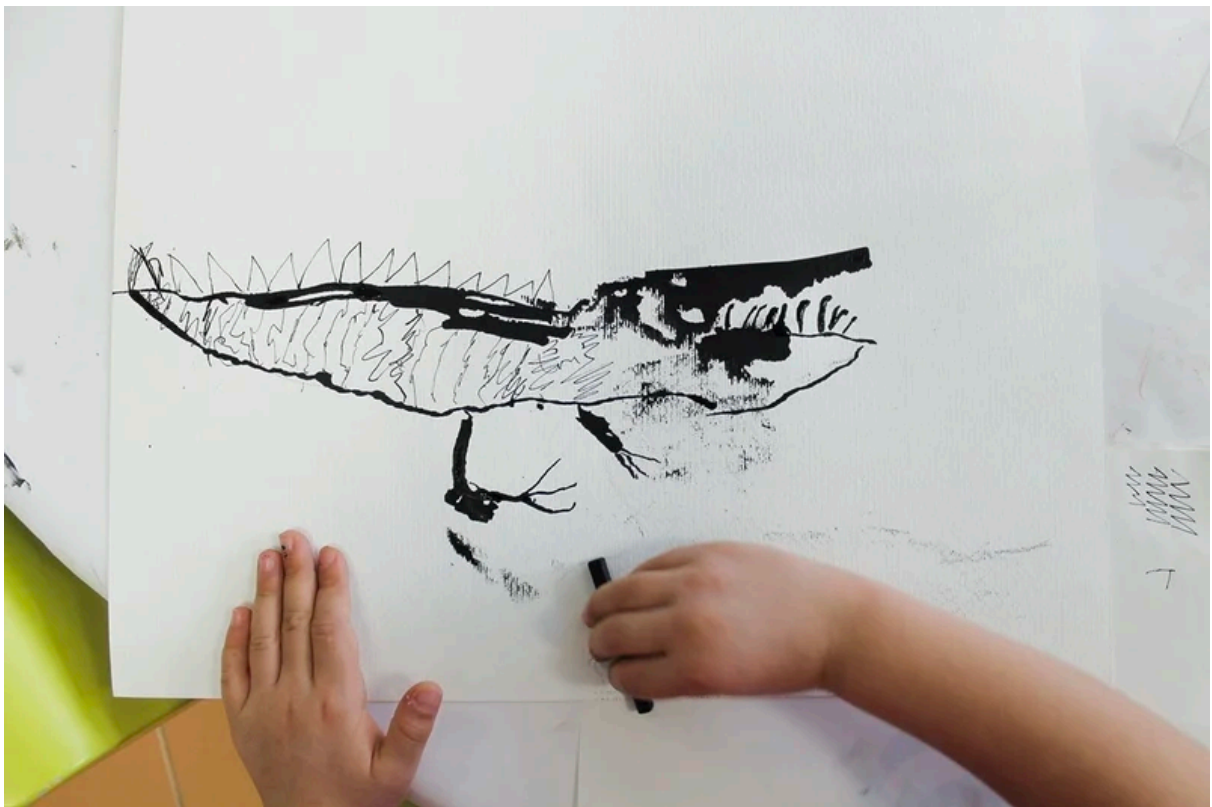
本展覧会において、株式会社しわく堂の取締役クリエイティブディレクターである平宅正人が、本巡回展の会場デザインを手がけました。

先進的な乳幼児教育として 注目を集めているレッジョエミリア・アプローチ。

レッジョ・エミリア市よりペダゴジスタを招いてのアトリエ実践プログラム、オンラインでのオープニングシンポジウムを開催

1991年にアメリカ版ニューズウィーク誌に世界で最も先進的な乳幼児教育として取り上げられたことを発端に、教育界で高く評価され、近年さらに注目をあつめているレッジョ・エミリア・アプローチ。本展では、「ドローイング」(drawing)という表現に着目し、子どもたちの作品とプロセス、教育者のリサーチをまとめており、子どものドローイングと語りが織り成す詩的な表出物(子どもたちの100の言葉)から、子どもたちが生み出す認知と表現の豊かさを届けていきます。具体的な実践事例が豊富であり、また、ドローイングという0歳から参加できる原初的な表現がテーマであることから、教育関係者、保育関係者だけでなく、子育て家庭も含め、より幅広い層に親しんでいただくことを狙いとしています。

本展覧会開催に先立ち、レッジョ・エミリア市よりペダゴジスタを招いてのアトリエ実践プログラム、オンラインでのオープニングシンポジウムを開催いたします。



黒い海に住んでいるおそろしいワニがここにいるよ。 マリーナ 4歳4ヶ月

【展覧会概要】

名 称：『もざいく -描くこと、言葉、素材が紡ぐ物語り-』

英 題：MOSAIC OF MARKS WORDS MATERIAL

全体会期：2022年12月1日(木)–2023年6月30日(金)

第一期会期：2022年12月1日(木)–2023年2月28日(火)

第一期会場：まちのこども園 代々木公園 エントランス

「The Children and Community Learning Center」

(東京都渋谷区代々木神園町2-1)

資 料 代：一般 ¥500 (高校生以下 無料)

主 催：Japan Institute for Reggio Emilia Alliance (JIREA)

協 力：東京大学大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター (Cedep)

問 合 せ：03-6447-4471

jirea@machihoiku.jp (JIREA 運営事務局)

* 観覧方法・詳細については、JIREA のホームページ上で、第二弾リリース (11 月下旬公開予定) としてご案内いたします。

【アトリエ実践プログラム】

「もざいく」で行われているレジジョ・エミリア・アプローチへの理解を深め、教育実践者をはじめ、日頃、子どもたちと接するすべての方が、子どもたちの表現と関わる中で大切にしたい視点やプロセス、問いの立て方やアトリエの環境構成など、具体的実践方法に触れることができる内容となっています。

開催日程：2022年11月23日(祝・水) 14:30~18:00

場 所：TIME SHARING 渋谷ワールド宇田川ビル9階 (渋谷区宇田川町 36-6)

講 師：マリーナ・カスタネッティ氏(レジジョ・チルドレン ペダゴジスタ)

カンチェーミ・潤子氏 (JC Academy 代表、教育コンサルタント)

プログラム構成：

- 1 「もざいく」に関するレクチャー
- 2 「もざいく」を日本の文脈で解釈するセッション
- 3 「もざいく」をテーマとしたアトリエワークショップ

詳細・申し込み：<https://mosaic2022.peatix.com/view>

なぜ、今、MOSAICなのか。

MOSAIC 日本公開記念オープニングシンポジウム

1989年に日本にレッジョ・エミリア・アプローチが初めて紹介されてから30年余り、「驚くべき学びの世界展:レッジョ・エミリアの幼児教育」が日本で公開されてから10年余り。そして、2020年10月のJIREA発足以来、着実に日本国内でレッジョ・エミリア・アプローチにインスパイアされた実践の輪、対話の輪が広がりつつあります。

2022年、日本で展覧会「もざいくー描くこと、言葉、素材が紡ぐ物語りー」が開催される節目の年に、日本における取り組みの歩みを振り返り、同展覧会が日本に紹介されることによる可能性の広がりについて、対話を深めます。

前半セッションでは、Reggio Children代表のCristian Fabbi氏、Reggio Emiliaで40年以上アトリエリスタとしての経験を持つ Mirella Ruozzi 氏のご登壇をはじめ、JIREA顧問である佐藤学先生からの基調講演を予定しています。また、後半セッションでは、本展に関連して「子どもたちの表現に寄り添い、社会に発信していくこと」をテーマとしたパネルディスカッションを行います。

今回は参加者特典として、シンポジウムのアーカイブを期間限定で視聴いただくことが可能です。

【オンラインシンポジウム 開催概要】

開催日程：2022年11月29日(火)17:30~21:00

場 所：オンライン

テ ー マ：なぜ、今、MOSAIC なのか。日本の保育現場における可能性の広がり

プログラム構成（予定）：

1 前半セッション

Cristian Fabbi 氏(Reggio Children 代表)によるスピーチ

Mirella Ruozzi 氏(Reggio Children アトリエリスタ)による MOSAIC に関するプレゼンテーション

佐藤 学氏（JIREA アドバイザー、東京大学 名誉教授）による基調講話 他

2 後半セッション

パネルディスカッションテーマ：

子どもたちの表現に寄り添い、社会に発信していくということ

ファシリテーター：秋田 喜代美氏（学習院大学 教授、東京大学 名誉教授）

パネリスト：カンチェーミ・潤子氏（JC Academy 代表、教育コンサルタント）

津田 純佳氏（みりおらーれ代表、アトリエリスタ）

山本 和久氏（Donny Grafiks、アート・ディレクター、グラフィック・デザイナー）

詳細・申し込み：<https://mosic2022symposium.peatix.com/>

展示推進：レッジョ・エミリア自治体 乳児保育園と幼児学校 (Istituzione)

展示実施：レッジョ・チルドレン

「Mosaic of Graphics Words Material」プロジェクトコーディネーターチーム
ダニエラ・ランツィ、デアナ・マルジーニ、アナリサ・ラボッティ、パオラ・ストロツィ、
ヨヴァンカ・リヴィ、イヴァナ・サンチーニ (ペダゴジスタ)
ミレツラ・ルオツツィ (レッジョ・エミリア自治体 乳児保育園と幼児学校のアトリエリスタ)
ヴェア・ヴェッキ (レッジョ・チルドレン アトリエリスタ、出版、コーディネーター)

プロジェクトの実施：以下の園の子どもたち、ペダゴジスタ、アトリエリスタ、教師たち
アーコバレーノ、ニデイ・イオッティ、ソーレ、パンダ (自治体乳児保育園)
8マルツォ、アンデルソン、アンナ・フランク、ベルベデーレ、イクバル・マツイ、
マルティーリ・デイ・セツソ、XXVアプリーレ (自治体幼児学校)

展示会キュレーション：ミレツラ・ルオツツィ、ヴェア・ヴェッキ
ドキュメンタリー資料：シモネッタ・ボタチーニ、ミレツラ・ルオツツィ
映像制作：サラ・デ・ポイ、ミレツラ・ルオツツィ
グラフィック・デザイン：マリ・イエア
アート・ディレクション：ロランド・バルディーニ
展示デザイン・レイアウト：ロランド・バルディーニ、マリ・イエア
英語翻訳：レズリー・モロウ
プレス・メディア：セレナ・マロツツィ、フランチェスカ・セヴェリーニ
組織企画：ダヴィデ・ボーニ、シモネッタ・ボタチーニ
IT技術：ファビオ・ルチェンティ、イワン・パオリ

日本展示

キュレーション・日本語翻訳：カンチェーミ潤子
キュレーション・日本語翻訳編集：山岸日登美
アートディレクション・グラフィックデザイン：山本和久(Donny Grafiks)
空間デザイン：平宅正人(しわく堂)
映像編集：山岸奏乃花
什器製作：大和工務店
印刷：グロリア・アーツ

監修:マリーナ・カスタネッティ(レッジョ・チルドレン ペダゴジスタ)

主催:Japan Institute for Reggio Emilia Alliance(JIREA)

協力:東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター(Cedep)